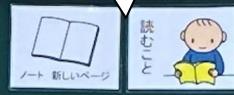


◎「見えないだけ」「マイズ」「ワナシット」「難点を整理して聞く」「この3つの単元は、やつ進みます。このプリントと教科書をよく読み、授業をじてのイメージでノートを書こう」といいます。次の休校明けにノートを回収します。

この單元は、どの観点で評価するかを示します。

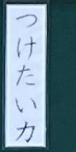
各單元の最初はノートを新しいページから初めてください。



P.16~

見えないだけ

牛乳 慶子



さまままな文章に触れ、言葉の曲調からに会えづく

「つけたい力」
「学習のゴール」
等は、ノートにも明記すること。
学習した日付も書きませよ。

4/24 学習のゴール

詩に用いられている語句に

注意して読む力。

△好きな表現を見つけ、そこから感じたことを書き出そう。

詩の読み方を考え朗読する。

各單元の終わりには振り返りを書きます。

「つけたい力」がついたかどうか」という観点で振り返りましょう。

▽学習を振り返って

教科書を読み、「この表現いいな」「この言葉好きだな」というものを見つけて、そこから感じたことも合わせて書きましょう。(複数可)



□ 教科書上「対句」(つづく)「体言止め(だいげんめいめい)」を書かしはじめるところ。

「かなみ」・・・「対句」とは、形の並べた語句や意味の並べてつなぎを並べてつなぎを繋げ、印象を強めの技法。

「体言止め」とは、終わる体言(名詞)で止めし、余韻を残す技法。

見えないだけ

牟礼 慶子

対句

空の上には

もっと青い空が浮かんでいる

波の底には

もっと大きな海が眠っている

胸の奥で

ことばがはぐくんでいる優しい世界

次の垣根で

薔薇をさし出している美しい季節

少し遠くで

待ちかねている新しい友だち

体言止め

あんなに確かに在るものか
まだここからは見えないだけ

きたざわけんじ・絵

このじつた知識
はノートのメモ欄に書いておく
程度あけて線を
引き、メモ欄を作
つておきましょう。

ノートの下5cm
程度あけて線を
引き、メモ欄を作
つておきましょう。

この詩のイメージはどんなイメージでしよう。
温かい? 柔らかい?
想像しながら何度か声に出して読んでみよう。
せつかくなので、誰かに聞いてもらいましょう。